

青森温泉巡り

その19

三内温泉 — 青森市街地にある濃い硫黄泉 —

北東北では中央部を走る火山帯にそって、強酸性の温泉が並んでいます。PH=1.05の玉川温泉は別格とし、酸ヶ湯温泉、恐山温泉、下風呂温泉と南北方向に強酸性の湯が、その両側にアルカリ性の優しい温泉がやはり南北に分布しています。従って、青森県を東西方向に縦断すると、酸性からアルカリ性まで様々な湯を楽しむことができます。

なんとなく硫黄泉などの強酸性の湯は、山奥にあるというイメージですが、その強酸性の温泉分布線が青森市を横切る所、青森市の市街地、三内丸山遺跡のほど近くに、この三内温泉があります。玄関を入る前から硫黄の臭いがして、浴室に入ると硫化水素でクラクラするほどです。ねっとりとした黄緑がかった湯、湯口や壁、洗い場の床は、析出した硫黄で黄色く染まっています。浴槽に足を入れると足の裏に析出物を感じます。成分総計は14.6 g/kg。呆

れるほどの硫黄泉です。湯上がりにはなかなか汗がひかず、1日たっても体から硫黄の臭いが消えません。

青森市で学会が開かれた時、いい機会だからと、三内温泉に入りました。後で会場でそれがバレてしまったのは硫黄臭のためでした。

外観は普通の温泉銭湯。浴室に入ると壁や床は硫黄の析出物で黄色に染まっている

三内温泉の Wikipedia: <http://bit.ly/138JRX7>

こちら編集委員会です

【ここに注目！年会招待講演の投稿論文・記事】

昨年の第29回プラズマ・核融合学会年会（春日市）では、多数の招待講演がありました。招待講演登壇者の方々には、Plasma and Fusion Research (PFR) もしくはプラズマ・核融合学会誌への論文・記事の投稿をお願いしております。8月16日現在ですでに掲載が決まっている論文・記事は以下リストのとおりです。このリスト以外に投稿中の論文もありますので、今後続々と掲載されます。登壇者の皆様には編集委員から矢のような催促があったかとは存じますが、快くご協力いただきありがとうございました。

登壇者（所属）	投稿先 題目等
沼波政倫 (核融合研)	PFR RC Vol.8, 1203019 (2013) "Relation among ITG Turbulence, Zonal Flows, and Transport in Helical Plasmas"
池田勝則 (核融合研)	PFR Letter Vol. 8, 1301036 (2013) "Visualization of H ⁻ Dynamics in Extraction Region of Negative-Ion Source by Hz Imaging Spectroscopy"
坂上裕之 (核融合研)	学会誌 第89巻5月号 研究最前線 "高温プラズマにおける高Z多価イオンの分校と原子構造" "6. EBITにおける高Z多価イオンの生成と分光"
宮本光貴 (島根大学)	学会誌 第89巻6月号 レビュー論文 "D-He-Be 混合プラズマ環境下でのタンゲステンの微細組織と重水素保持特性"
城崎知至 (広島大学)	学会誌 第89巻7月号 研究論文 "高速電子ビームの自己生成磁場ガイドによるコア加熱の高効率化"
河森栄一郎 (National Cheng Kung Univ.)	学会誌 第89巻7月号 研究論文 "磁化プラズマの2次元静電乱流におけるエントロピーカスケードの実験的検証"
今井 剛 (筑波大学)	学会誌 第89巻7月号 研究最前線 "双方向型共同研究の新展開に向けた28 GHz帯の高出力ジャイロトロン開発の現状"
岩本晃史 (核融合研)	学会誌 第89巻8月号 レビュー論文 "高速点火レーザー核融合実験用クライオジェニックターゲットの開発"
成行泰裕 (富山大学)	学会誌 第89巻9月号 レビュー論文 "太陽風アルヴェン波流とイオンビーム不安定性"